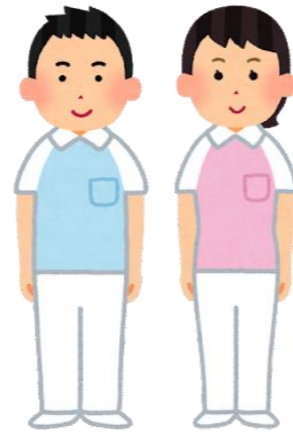


介護福祉士試験

今年の1月に職員が介護福祉士資格試験を受けました。受験生と施設全体で受験に向けて準備していった結果、無事4名の職員が合格することができました。専門資格を持った職員が4名も増えたことは施設としても頼もしく、喜ばしいことです。この試験で学んだことを活かし、介護サービスの向上に取り組んでまいります。



苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話:052-217-8715

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

職員コラム

昨年2月にゆうあいの里にきてあつという間に1年が経ちました。ここで働くようになるまで僕は家具を作る仕事をしていて介護の仕事をする事になるとは全く思っていませんでした。家具作りとは違い人を相手にする仕事なので初めは不安もありましたが、上司の方や先輩の方が優しく声をかけたりしてくれました。入居者の方からありがとうと言われた時は前の仕事にはなかったやりがいも感じる事ができました。1年働いて大変な事や辛いと思う時はもちろんありました。でもこの仕事に変わって後悔はしていません。まだまだ未熟ですがこれからもっと介護技術を高めていけるように努力していきたいです。

Y.K

編集後記

3/22にWBCで日本が優勝しました。ゆうあいの里大同でも、その日はWBCの中継を流し、優勝の瞬間を見届けました。調べてみると、WBCは今回を含めて5回開催されていますが、そのうち3回も日本は優勝しているのですね。私は野球には詳しくないのですが、WBC優勝の過半数を日本が占めているというのは、凄いことだなと思いました。折角WBCのことを調べたのだから、野球自体についても少し調べてみようと思い、野球の歴史を少し調べてみました。日本に野球が持ち込まれたのは1870年代。開成学校(後の東京大学)のアメリカ人教師がボールとバットを持ち込んだのがきっかけのこと。なので、日本の野球は学生野球から始まりました。その後社会人チームが結成され、プロ野球が始まったのは日本に野球が持ち込まれてから約50年後の1920年。それからおよそ100年後の現在、野球はすっかり国民的スポーツとなり、世界大会で優勝するまでになったのかと思うと感慨深いですね。これからも野球が盛り

ご寄付ありがとうございました
2023.2~2023.3
三宅進様、加藤和枝様

寄付金は介護用品の購入に使わせていただきます。

ゆうあい通信 2023年4月(第28号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2023年4月(第二十八号)



【理念】
人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新年度の挨拶

桜満開の中、新年度を迎えました。一言ご挨拶させていただきます。
新型コロナウイルス感染症の発生から3年余りが経過しました。昨年度は施設内で初めて感染者が発生し、ご家族様にもご心配をおかけしましたが、職員一丸となり対応し乗り切ることができました。
新型コロナウイルス感染症の感染症上の位置づけは、5月8日から季節性インフルエンザなどと同じ5類に変更されます。変更された後も一定の流行が繰り返されることが想定されるため、引き続き高齢者施設での感染対策は必要となります。施設訪問の際には、感染対策についてのご理解ご協力をお願いします。
今年度はコロナ感染の状況変化を見ながら地域交流や季節のイベントなど開催の仕方を検討し、入居者とご家族と一緒に楽しく過ごせる時間を提供したいと考えております。当施設の理念である「人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供する事が、私たちの使命です」を常に念頭に置き、入居者及びご家族様が、満足して頂けるよう、職員一同努力いたします。

業務執行理事 副施設長 黒滝 祥子

貼り絵



約1ヵ月かけて、入居者の皆様で貼り絵を制作しました。今回のテーマは「日本の春」です。富士山と満開の桜をモチーフにしました。折り紙を手でちぎってグラデーションを考えながら貼っていき、立体的な絵画になりました。完成した貼り絵は1階に飾ってあります。

ゆうあいの里の今年度の取組

コロナ禍の影響により、ここ数年間、施設の運営は大きく変化せざるを得ませんでした。感染防止の為、「ご家族の面会制限」「近隣の幼稚園児・小学生との交流中止」「中学高校生の実習・ボランティア・地域老人会の施設利用の中止」など、様々なことがありました。一方、外部との交流が少なくなった分、入居者の施設内での生活を豊かにする努力を惜しまなかった数年間でもあります。

今年度はコロナ感染規制が緩和されたので、当施設では次の点に重点を置き施設運営を行っていきます。

1. 「個性をふまえた援助を提供し、生活の質を上げる」

昨年度の日常生活援助取り組みの結果の継続

- (1) おむつ内排便⇒トイレで排便ができるようになった
 - (2) 尿の管が入っていた⇒管が無くても自分で排尿できるようになった
 - (3) 胃ろうからの食事だった⇒経口摂取できるようになった
 - (4) 食事全介助だった⇒自分の手で食事が食べられるようになった
- 等、残存機能を評価しながら少しずつ取り組んだ結果です。昨年度以上に一人ひとりと向き合い、個別性を踏まえた援助が提供できるようにします。

2. 「入居者・ご家族・職員の交流を増やす」

- (1) 6か月毎のケースカンファレンスはご家族様参加100%
 - (2) ご家族と一緒に入居者の外出を許可する(必要に応じて職員も付き添う)
 - (3) 秋のゆうあい祭計画を立て大勢のご家族の皆様にご参加いただく
 - (4) ボランティア受け入れを開始して余興を楽しむ機会を増やす
- 感染対策をとりながら入居者とご家族及び職員とご家族の交流の機会を増やすように取り組みます。



温冷配膳車導入

4月から温冷配膳車を導入しました。今までは出来る限り短い時間で盛り付けし、温かい料理を提供出来るように努めていましたが、お食事が手元に届くころにはやや温度が下がってしまうことが課題でした。温冷配膳車では食事をお配りするカートに温蔵庫や冷蔵庫が内蔵されており、プリンやサラダなどは冷たく、焼き物や煮物などは温かいまま提供することが出来るため、できたてに近い状態でお出しすることが出来るようになりました。皆様には、とても喜んでいただいています。



ゆうあい菜園



菜園に植えた色とりどりの花が咲き、とても華やかになりました。



10月頃に植えたキャベツは無事4月に収穫できました。約1kgある立派なキャベツに育ちました。

1月～4月の行事風景

寒さに負けない楽しいイベントを今年も開催しました。

2月 節分イベント

職員が赤鬼、青鬼に扮して登場！豆の代わりにボールを投げて「福は内～鬼は外～♪」と叫びながら豆まきゲームを楽しみました。



3月 ひな祭り

今年も玄関ホールに雛人形を飾り、入居者も1階までお雛様を見に来られ一緒に写真を撮りました。3月3日の昼食では、ちらし寿司を美味しくいただきました。



レアチーズケーキ

料理イベントではレアチーズケーキをつくりました。甘くてとても美味しいと評判でした。

4月 桜見物

大同大学の桜を観に出かけました。当日は桜満開で天気も良く、密にならないよう順番に少人数ずつで楽しみました。



日常のレクリエーション

さまざまなレクリエーション(リハビリ)を行っています。ここでいくつかご紹介いたします。



サイコロゲーム



任天堂SWITCH



棒体操



傘玉入れゲーム



カラオケ



傘玉入れゲーム